

全国まちづくり

若者サミット 2020

〔報告書〕



「誰かの役に立ちたい!」、「何か面白いことをしたい」、「とにかく住んでいる街が好き」、街にはいろいろな人がいます。元気に活動している人も、立ち止まっている人も、おしゃべりに来ませんか? そんな呼びかけに集まった参加者たちによる「まちをデザインする」をキーワードに過ごした1泊2日の様子を報告します。

期 日 2020年2月1日(土)~2日(日)
会 場 日本青年館 8F カンファレンスルーム
主 催 一般財団法人日本青年館
後 援 独立行政法人国立青少年教育振興機構
参加者 71名

◇2月1日(土)

- 12:30 受付開始
13:00 オープニング
13:30 トークセッションⅠ
A かわじま☆未来塾
大正大学地域創生学部
青年クラブみなべ
B 群馬県青少年会館
つばめ若者会議
盛岡YMCA
STANDARD KOGA
15:30 休憩
16:00 トークセッションⅡ
A 飯山市若者会議
栃木県青年会館
ユースネット袋井
プラニク・ヨゲンドラ氏
B 伊賀市若者会議
沖縄県青年団協議会
NELD
18:00 休憩・チェックイン
18:30 情報交換会(1FスタジオM・カフェ)

◇2月2日(日)

- 9:00 トークセッションⅢ
A NPO 法人 ezorock
前橋の地域若者会議
創造集団 440Hz
長崎県立五島高校
B Ogouchi Banban Company
東京工業大学真野研究室
多摩市若者会議
11:00 クロージングセッション
「外苑カフェ」
12:30 エンディング



写真上：参加者のほとんどが初対面。名刺交換でご挨拶。

写真右：少人数でのグループ討議。ワールドカフェ方式により15分単位でメンバーを入れ替えることで、限られた時間内で多くの人との対話を実現する。

〔初めての若者事業〕

日本青年館は2017年に三代目の建物が完成したことを受け、青年問題研究所の活動を8年ぶりに再開させました。若者が集団活動や地域活動を通じて成長する機会を応援し、あらゆる青年活動の「プラットフォーム」になることをめざしています。その一環として多様な若者たちの取り組みが集まり、互いに学び合う場として「全国まちづくり若者サミット2020」を初めて開催しました。

北は北海道から南は沖縄まで総勢71名が参加。オープニングでは山本信也常務理事が主催者挨拶、また、ファシリテーターとしてご協力をいただいた北海道大学准教授の辻智子さんが、様々な分野の活動報告が用意されているプログラムの多様性に触れながら、2日間を通じて考えてほしいテーマを投げかけました。

〔トークセッション〕

一泊二日を通じて合計3回行われたトークセッションではA B二つのグループに分かれ21団体の活動をプレゼンテーションで報告いただき、その後、3~4人の少人数でグループをつくり、ワールドカフェ方式で意見交換をしました。

活動報告内容は地域活性化、自然保護、空き家対策、商店街活性化、多文化共生、若者の就労支援、投票率向上など、ほぼ重複することなく多岐にわたっており、各地で若者が主体となった地域課題解決の活動が報告されました。

参加団体も多彩で、青年団はもちろんのこと、近年全国的に広がっている若者会議やNPOなどの各種団体、青年会館や青少年団体からも活動報告を行っていただきました。社会人だけでなく大学や高校からの報告があった点も見逃せない点です。

参加団体の多くは他団体の活動報告に接する機会がほとんどなく、交流会の時間なども含め充実した学びと交流の場となりました。



山本信也常務理事



北大准教授・辻智子さん



画像を使って報告



初日のふたつのトークセッションで出された意見を付箋にまとめ、模造紙に張り出しました。出された意見は主に「組織運営」「お金」「地域」「自分事」の4つに分類。二日目の冒頭に全員で前日出された意見を確かめた上で、A B二つのグループに分かれてトークセッションに臨みました。

二日目の活動報告でも、地域おこしやボランティアコーディネート、若者の自立支援やまちづくりといった多彩なテーマで報告がありました。中でもA会場で報告された長崎県立五島高校（長崎県五島市）には、総合学習の時間での環境保護や観光の取り組みに多くの関心が寄せられました。また、B会場で報告された Ogouchi Banban Company



報告にも熱がこもる



討議内容を発表

（東京都奥多摩町）のプレゼン動画は東京とは思えないほどの豊かな自然が織り込まれるとともに、住民を巻き込んで行われている多様な地域おこしの取り組みに参加者の多くが圧倒されました。なお、それぞれのプレゼン資料は [http:// bit.do/fFn9T](http://bit.do/fFn9T) で閲覧可能です。



各団体の資料も多数配布された

大盛況の情報交換会



情報交換会は1階「スタジアムカフェ」。トークセッションとは違って和やかな雰囲気の中、地域や団体を越えて食事と対話が弾みました。その後は、日本青年館内のフリースペースに移動して自主的な交流会となり、語り合いが続きしました。

〔クロージングセッション〕

二日目の最後は矢口悦子さん（東洋大学文学部教授）をファシリテーターに迎え「外苑カフェ」と題して、これまでの学びを振り返りました。

矢口さんから投げかけられたテーマは「ざわざわ」。初日からの活動報告と意見交換で疑問に感じたことや違和感を覚えたことを出しました。参加団体の活動報告に驚きと賞賛の連続だった参加者にとってこれは難しい課題でしたが、活動をブラッシュアップするためには必要な通過点です。

なお、矢口先生からはまとめとして日本青年館が戦後直

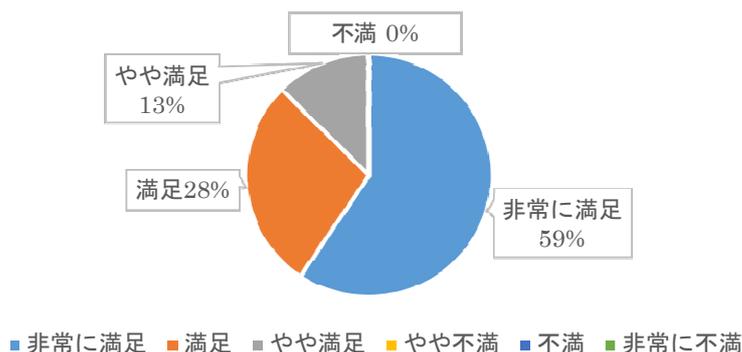


東洋大学教授・矢口悦子さん

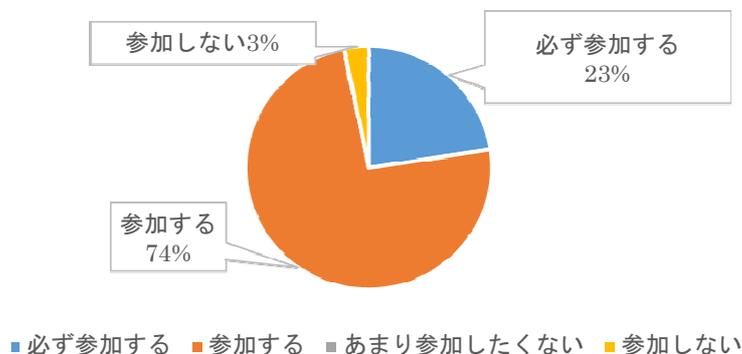
後から若者の地域活動を支援してきた歴史にふれていただきました。



事業に対する満足度



来年も参加しますか



参加者の属性

属性	人数
若者会議	17
NPO 等青年団体	13
自治体職員	9
大学・高校	7
青年団	5
企業	3
青少年団体	3
青年会館	3
大学職員	2
教員	1
その他・個人	8
合計	71

今回、空き家問題への取り組みを報告していただいた横須賀市の一般社団法人NELD。空き家をリノベーションして事務所にした「夢畑（タカラバコ。）」へサミット参加団体の訪問が相次いでいるようです。相互の交流からどんな化学反応が生まれるのか、ここにサミットの成果があります。活動の広がりや深まりに期待が高まります。

参加者アンケートから（抜粋）

他団体の活動を知れた

民間企業、団体、自治体、学生等々いろんな分野の方のお話を聞いて勉強になった／他団体の情報や新たなつながりができ、自団体の活動や想いの確認ができた／全国の仲間との交流ができて本当に良かった／広いざっくりとしたテーマでゆるく話せた／青年会の文化を知れてよかった／今回発表と出会いの機会をいただいてありがたかった。今後ともつながっていきたくらい

全ての報告を聞きたい

全団体の発表を見たかったので、後日、動画等の公開があるといい／もう少し議論を深めたかった

これからに向けて

少しもやもやする形で終わったので、自分の活動の中で考えたい／開催間近でこちらのイベントを教えて頂いたので広報など力になりたい

報告団体のプレゼン資料は [http:// bit.do/fFn9T](http://bit.do/fFn9T) で公開中